

ご存知ですか？(軽自動車の安全性能)

軽自動車には、普通・小型自動車と同じ衝突安全基準が適用されています。

1998年10月に軽自動車の規格改定が行なわれ、以降、すべての軽自動車には普通・小型自動車とまったく同じ衝突安全基準が適用されています。

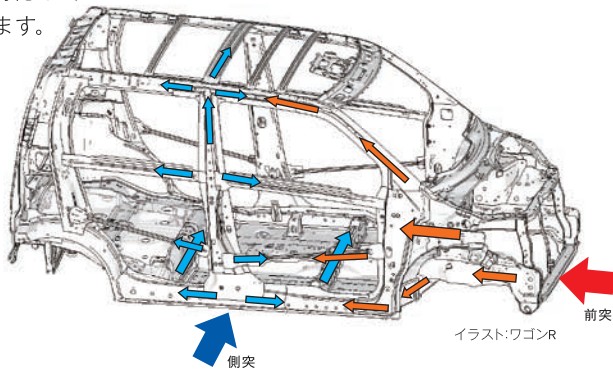
[衝突安全基準の概要]

- ① 50km/hの前面衝突で乗員が保護されること。
- ② 50km/hの側面衝突で乗員が保護されること。
- ③ 50km/hの前面・後面、及び側面衝突で一定基準を超える燃料が漏れないこと。
- ④ 56km/hの前面オフセット衝突で乗員が保護されること(乗用車のみ)。

安心のカーライフのために。スズキの安全性能。

衝撃を効果的に分散・吸収するボディー、TECT[テクト]。

スズキでは、すべての軽乗用車に軽量衝撃吸収ボディーTECT[テクト]を採用しています。衝突時に乗る人を保護するクラッシュアブル構造や、その衝撃を効果的にボディーに分散する骨格構造、さらに高強度なキャビン構造など多くの安全技術を投入し、高い衝突安全性能を実現。55km/hでの前面衝突、側面衝突、後面衝突のほか、64km/hでのオフセット前面衝突にも対応しています。



室内には、頭部衝撃軽減構造インテリアを採用。

室内のピラーとルーフサイドに衝撃吸収材を内蔵した、頭部衝撃軽減構造インテリアを採用。万一の接触時に頭部へのダメージを軽減します。



*ジムニー、キャライを除く

すべての軽乗用車の運転席・助手席にSRSエアバッグを標準装備。

前方向からの衝突時にセンサーが一定以上の衝撃を検知すると、エアバッグが瞬時に膨張・収縮。シートベルトの効果とあわせて、前席乗員の頭部や胸部への衝撃を緩和します。



●SRSエアバッグシステムは、シートベルトを補助する装置ですので、必ずシートベルトをご着用ください。●SRSエアバッグシステムは、衝突の条件によっては作動しない場合があります。また、ご注意ください項目がありますので、必ず取扱説明書をよくお読みください。 SRS=Supplemental Restraint System(補助拘束装置)

すべての軽乗用車の運転席・助手席にフロントシートベルトプリテンショナー・フォースリミッターを採用。



【プリテンショナー機構】
衝突した瞬間にベルトを引き込んで、体をしっかりと拘束します。



【フォースリミッター】
ベルトに一定以上の荷重がかからないようにして、胸への衝撃を緩和します。